

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	電波の日	安藤 真	個人	東京工業大学 名誉教授	ミリ波をはじめとする高周波無線技術の発展に長年にわたり寄与するとともに、情報通信審議会委員や陸上無線通信委員会主査等として、我が国の電波利用の高度化に尽力し、電波行政の発展に多大な貢献をした。
中央	電波の日	多氣 昌生	個人	東京都立大学 名誉教授 同システムデザイン学部特別先導教授	国際非電離放射線防護委員会委員や電波利用環境委員会主査等として、電波防護指針の策定等に長年にわたり寄与するとともに、生体電磁環境研究の発展に尽力され、我が国における安心・安全な電波利用の推進に多大な貢献をした。
中央	電波の日	都竹 愛一郎	個人	名城大学理工学部 電気電子工学科教授	長年にわたり放送技術の発展に寄与し、これまでFM同期放送、地上デジタルテレビジョン放送、CS デジタル放送の高度化、4K・8K放送等各種放送方式の技術的条件の策定に尽力するとともに、放送分野における国際標準化活動に多大な貢献をした。
中央	電波の日	中沢 正隆	個人	東北大学電気通信研究機構特任教授	光通信技術の研究開発に長年にわたり取り組み、光通信の高度化に尽力し、情報通信の発展に寄与するとともに、東日本大震災の教訓を踏まえた災害に強い情報通信ネットワークや光・無線融合ネットワークの研究開発を推進するなど、電波利用の推進に多大な貢献をした。
中央	電波の日	タイ王国 キングモンクット工科大学ラカバン校	団体	学長 ：スチャチャウィー・スワンナサワット	長年にわたり、宇宙天気に関する共同研究により、我が国の宇宙天気予報業務の高度化とアジア太平洋地域における宇宙天気研究の発展に多大な貢献をするとともに、創立以来60年にわたる情報通信分野における人材育成等の様々な協力を通じて、日タイの友好関係の深化に尽力した。
中央	電波の日	第5世代モバイル推進フォーラム	団体	会長 ：吉田 進	第5世代移動通信システムの実現に向けて産学官と連携し、国内外の技術動向の調査研究や標準化のほか、国際連携の強化等数多くの取組を推進するとともに、総務省の施策と協調した取組を通じ、日本における同システムの円滑な導入に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	川島 宏一	個人	筑波大学システム情報系教授(社会工学)	地域情報化アドバイザーとして、全国の地方公共団体におけるオープンデータの推進に尽力するとともに、各地で活躍する地域情報化アドバイザーを総括するリーダーとして、我が国の地域情報化の推進に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	手塚 悟	個人	慶應義塾大学環境情報学部教授	個人情報保護委員会委員として、マイナンバー制度について、システム構築等の観点から特定個人情報保護に寄与するとともに、暗号技術の安全性確保に尽力したほか、電子認証基盤に関する制度設計・トラストサービスの普及や制度検討に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	中山 隆夫	個人	弁護士	電気通信紛争処理委員会委員長として識見をいかした委員会運営により、電気通信事業者間・放送事業者間等の紛争を公正かつ円滑に解決するとともに、総務大臣からの諮問事案に対する審議・答申を指揮するなど、電気通信分野における公正競争の確保に尽力し、情報通信の発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	西尾 章治郎	個人	大阪大学総長	デジタル変革時代のICTグローバル戦略懇談会座長として、G20の茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合 閣僚声明及び大阪サミット首脳宣言に反映された報告書の取りまとめに尽力し、デジタル経済の発展の礎となる国際的な協力関係の強化に多大な貢献をした。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	情報通信月間	森 亮二	個人	弁護士	情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会やプラットフォームサービスに関する研究会の構成員を務めるとともに、日本IT団体連盟認定委員会委員長として情報銀行の認定を行う等通信サービスの利用者情報の適切な取扱いの確保に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	株式会社 あわえ	団体	代表取締役 : 吉田 基晴	全国の自治体と連携し、サテライトオフィスの誘致を支援するとともに、誘致企業・移住者・地域住民との協働を通じ、ICT活用による減災等地域課題の解決を推進することでSociety5.0時代の持続可能な地域社会モデルの構築に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	一般社団法人 キャッシュレス推進協議会	団体	会長 : 鶴浦 博夫	コード決済に関する統一仕様ガイドラインを策定・公表し、総務省統一QR「JPQR」普及事業に一体となって取り組むなど、我が国のキャッシュレス化やモバイル決済の推進に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	グローバルコミュニケーション開発推進協議会	団体	会長 : 須藤 修	総務省のグローバルコミュニケーション計画を産学官連携で推進する体制を構築し、多言語音声翻訳技術の向上と、同技術を活用した製品やサービスの2020年に先立つ実用化に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	佐賀県	団体	知事 : 山口 祥義	全国に先駆けてテレワークの導入に取り組むとともに、県内全市町でのサイバー防御や、青少年のインターネットの安心安全な利用を積極的に推進するなど、地域での情報通信の利活用に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合推進協議会	団体	会長(茨城県知事) : 大井川 和彦	令和元年6月8日及び9日に開催された、「G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」において、各国代表のおもてなしをするとともに、県民・市民も参加した機運醸成に向けた様々な取組を実施するなど会合運営を支援し、同会合の成功に多大な貢献をした。
中央	情報通信月間	公益社団法人 全国消費生活相談員協会	団体	理事長 : 増田 悦子	総務省設置の「消費者保護ルールの検証に関するWG」等の会合に参画し、消費者の観点から報告書等の取りまとめや制度整備に協力するとともに、消費者からの電話相談等を通じて電気通信サービスの安心・安全な利用環境の推進に多大な貢献をした。
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	北海道札幌北高等学校 放送局ビデオメッセージ制作班			作品名 <結び>
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	尚綱学院大学 総合人間科学部 表現文化学科 大野ゼミ			作品名 <つながりの輪を広げて> ～心のままに歩むまち、川崎～
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	栃木県立壬生高等学校 美術部			作品名 <200枚の季節>
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	山崎 さくら (長岡造形大学)			作品名 <Toki>
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	洛陽総合高等学校 Haruki Motion Pictures × infini			作品名 <遊び感覚>
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	黒木 香那 (広島市立大学)			作品名 <父とのわかれ>

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	久万中映像制作班 (久万高原町立久万中学校)			作品名 〈発見！久万高原町の新百景〉
中央	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	比嘉 優樹 満名 美輝 (総合学園ヒューマンアカデミー那覇校)			作品名 〈灯の樹〉
中央	志田林三郎賞	鳥澤 健太郎	個人	国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所 データ駆動知能システム研究センターセンター長	大規模Web情報分析システムや対災害SNS情報分析システムなど、世界最先端の自然言語処理技術を開発し、我が国における自然言語処理技術の発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信功績賞	安念 潤司	個人	中央大学大学院法務研究科教授	デジタル活用共生社会実現会議ICT地域コミュニティ創造部会部会長として、同会議の議論の取りまとめに尽力するとともに、地域ICTクラブの構築を通じたICT人材の裾野拡大に多大な貢献をした。
中央	情報通信功績賞	後藤 良則	個人	国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) 第13研究委員会 (SG13) 副議長 (日本電信電話株式会社ネットワーク基盤技術研究所主任研究員)	後藤が標準化活動の中心としているITU-T SG13は将来の通信ネットワークのコンセプトを検討する場です。そこでは様々な標準化手法を試し、仮想化や量子通信のような新技術の検討を推進することができました。他の業務では得られない貴重な経験が得られたことを今回の受賞ともども大変ありがたく思います。
中央	情報通信功績賞	実積 寿也	個人	中央大学総合政策学部教授	経済協力開発機構デジタル経済政策委員会及びデジタル経済計測分析作業部会の副議長を務め、AIに関する原則の策定などの情報通信分野における国際的な制度枠組みの構築に多大な貢献をした。
中央	情報通信功績賞	中川 裕志	個人	国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センターチームリーダー	AIネットワーク社会推進会議幹事等を務め、国際的な議論のためのAI開発ガイドライン案及びAI 利活用ガイドラインのとりまとめに尽力するとともに、情報通信政策の形成及び情報通信関連法の 調査・研究に先導的な役割を果たした。
中央	情報通信功績賞	一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会	団体	会長 : 徳田 英幸	IoTセキュリティ要件を定め、これに適合したIoT 機器に対する任意認証制度を開始したほか、IoT機器の分野別のガイドラインを策定するなど、IoT機器全体のセキュリティ水準の向上に多大な貢献をした。
北海道	電波の日	上野山 彰	個人	株式会社エフエムおびひろ 常務取締役	多年にわたり道内コミュニティ放送の発展に尽力するとともに、平成30年北海道胆振東部地震の際には、被災地におけるコミュニティ放送環境を整備して地域住民の安心・安全の確保に貢献するなど、多大な貢献をされました。
北海道	電波の日	利尻町	団体	町長 : 保野 洋一	民放ラジオ難聴視解消支援事業を活用して、コミュニティ放送局「FMわっぴ〜」の中継局を整備し、町民に自動起動ラジオを配付するなど町民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
北海道	電波の日	厚真町	団体	町長 : 宮坂 尚市朗	平成30年北海道胆振東部地震に際し、臨時災害放送局「あつま災害エフエム」を開設して、災害情報や生活支援情報を発信し続けることにより町民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
北海道	電波の日	team Smart Rice Project	団体	代表 : 長瀬 康斗	大規模稲作地帯が抱える課題解決のため、ワイヤレスIoTによる「スマート稲作システム」を考案し、スマート農業の新たな可能性を示されました。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	情報通信月間	川瀬 正明	個人	公立大学法人公立千歳科学技術大学理事長・学長	多年にわたりSCOPE(戦略的情報通信研究開発推進事業)の「地域ICT振興型評価委員会」委員長を務め、道内のICT分野の研究開発の推進及び研究開発成果を活用した地域課題解決に多大な貢献をされました。
北海道	情報通信月間	浅見 洋	個人	KDDI株式会社北海道総支社管理部 専任課長	e-ネットキャラバンの講師として積極的に活動するとともに、受講者のニーズに合わせた分かりやすい講座を行うなどインターネットを安心して利用できる取組に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	相澤 学	個人	前一般財団法人移動無線センター東北センター長	多年にわたりMCA陸上移動通信システムの普及発展に尽力し、地方公共団体が進める防災情報伝達システムの整備を推進するとともに、東北情報通信懇談会地域情報通信委員長として「地域課題解決マッチング会」を開催するなど、東北地域におけるICT活用の推進に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	玉井 恒	個人	日本地域放送支援機構理事長	多年にわたりコミュニティ放送の普及や臨時災害放送局の活用・運用支援に向けた取り組みを主導され、コミュニティ放送の活用を通じた地域の活性化及び災害時の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	青森県警察本部	団体	本部長 :村井 紀之	電波の公共性を深く認識され、県下のすべての警察署を対象に独自で不法無線局の取締りができるよう積極的に人材育成に努めるなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	株式会社NTTドコモ東北支社	団体	執行役員 東北支社長 : 芦川 隆範	第5世代移動通信システムについて、東北地域におけるプレサービスの実施によるユースケースの創出や早期のエリア展開に積極的に取り組むなど、東北地域の第5世代移動通信システムの普及推進に向けて多大な貢献をされました。
東北	電波の日	東北特機サービス株式会社	団体	代表取締役 :山口 清喜	令和元年東日本台風において支障が生じた宮城県大郷町の防災行政無線に仮設の拡声子局を迅速に設置することにより、早期の仮復旧を図り住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
東北	電波の日	株式会社日立国際電気東日本支社	団体	支社長 :八巻 好貴	令和元年東日本台風において浸水した福島県玉川村の防災行政無線設備を迅速に応急修理することにより、早期の仮復旧を図り、住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	岩手県ふるさと振興部科学・情報政策室	団体	室長 :古館 慶之	東日本大震災の被災地域において、被災自治体や関係機関と連携を図り、住民の生活の再建に必要な不可欠な情報通信基盤の整備・復旧に尽力するなど、ICTを活用した創造的な復興の推進に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	山形県酒田市	団体	市長 :丸山 至	外国人旅行者を含む観光客の回遊性向上と観光情報の効果的な発信のために観光クラウドを活用した情報支援体制の整備を行い、「地域IoT実装推進ロードマップ」における分野別成功モデルの普及展開を図るなど、地域情報化の推進に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	一般社団法人東北映像製作社協会	団体	理事長 :後藤 吉郎	多年にわたり「東北映像フェスティバル」を開催し、東北地域のクリエイターの育成や作品発表の機会の提供など、地域における映像産業の振興に多大な貢献をされました。



## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東北	情報通信月間	福島県企画調整部情報政策課	団体	課長 :大原 和弘	東日本大震災の被災地域において、被災自治体や関係機関と連携を図り、住民の帰還促進や生活の再建に必要な不可欠な情報通信基盤の整備・復旧に尽力するなど、ICTを活用した創造的な復興の推進に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	株式会社福島中央テレビ	団体	代表取締役社長 :河田 卓司	東北地域の魅力を海外に発信するため、弊局の動画サイトの立上げに当たって素材を多数提供するとともに、放送コンテンツの海外展開にも積極的に取り組むなど、東北地域へのインバウンド増加に多大な貢献をされました。
東北	情報通信月間	宮城県震災復興・企画部情報政策課	団体	課長 :高橋 寿久	東日本大震災の被災地域において、被災自治体や関係機関と連携を図り、住民の生活の再建に必要な不可欠な情報通信基盤の整備・復旧に尽力するなど、ICTを活用した創造的な復興の推進に多大な貢献をされました。
東北	東北総合通信局長表彰	秋田市立城東中学校	学校部門	校長 :大塚 久隆	「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『怖いのは 顔の見えない お友達』 生徒会で全校生徒から標語を募集し、集まった400点以上の作品の中から生徒会執行部員が候補作品を19点まで絞り、国語科の先生などの意見を聞いて最終的に決定するなど、情報通信の安心・安全な利用に関わる顕著な活動をされ、標語作りにおいて優秀な作品を創作されました。
東北	東北電気通信協力会長表彰	福島県昭和村	団体	村長 :舟木 幸一	貴村が保有する光ファイバ網を活用し、集落ごとにAMラジオ放送をFMで再送信するギャップフィルターを整備することにより、住民のラジオ放送の受信改善に多大な貢献をされました。
関東	電波の日	佐藤 俊夫	個人	茨城県電波適正利用推進員協議会	多年にわたり茨城県電波適正利用推進員協議会の役員を務めるとともに関係団体と折衝し、電波の正しい利用方法とルールについて各自治体等と連携したイベントを企画するなど、良好な電波利用環境維持及び協議会活動の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日	須田 昭仁	個人	—	令和元年台風19号により多くの被害が出ている中、アマチュア無線局でSOS信号を受信し、孤立状態であった老夫婦の救助要請を固定電話により行い、救助が確認できるまでの間、アマチュア無線局の通信を継続し、災害時における電波の適切な使用に多大な貢献をした。
関東	電波の日	市原FM放送株式会社	団体	代表取締役社長 :御園生 賢司	ラジオ放送による災害時の情報伝達の重要性を強く認識し、令和元年台風15号災害に際し、長期間にわたる放送停止を余儀なくされる中、早期の復旧に努めるとともに自ら取材したきめ細やかな災害情報を放送するなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
関東	電波の日	一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	団体	会長 :出野 清秀	令和元年台風19号上陸に伴い水戸市から災害時要配慮者の輸送要請を受け、タクシー無線を活用して市内の被災状況や搬送先までの経路の安全確認を行い、適切な車両の配置を行いつつ避難輸送を行うなど、災害時における電波の適切な使用に多大な貢献をした。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関東	電波の日	かずさエフエム株式会社	団体	代表取締役 ：石村 比呂美	令和元年台風15号災害に伴う大規模停電により放送の継続が困難となる中、仮設のスタジオを迅速に開設し、住民に向けた災害情報の発信を積極的に行うなど、基幹放送局としての使命を十分に果たすとともに、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
関東	電波の日	神奈川エフエムネットワーク	団体	—	神奈川県内のFM放送局の連携組織として、災害時の情報を共有し、地域住民に情報発信を行うとともに、災害時にラジオが有効な情報伝達手段となることを啓発するイベントを開催するなど、地域における災害情報の伝達と防災対策の向上に多大な貢献をした。
関東	電波の日	関東自動車無線協会 神奈川支部	団体	支部長 ：藤井 嘉一郎	多年にわたりタクシー無線利用会員の無線従事者資格取得に尽力し、従事者養成講習会の開催、無線技術・運用の知識習得に向けた取組を推進するなど、法制度の遵守及び電波利用秩序の維持向上と人材の育成に多大な貢献をした。
関東	電波の日	台風被害による地上波テレビジョン放送復旧対策チーム	団体	—	令和元年台風15号及び19号災害に伴う長時間の停電による千葉県内の大規模停電に際し、日本放送協会、関東広域民放5社、千葉テレビ放送及び保守事業者3社で連携し、協力体制を確立し放送の復旧に努め、災害時における放送の維持・充実に多大な貢献をした。
関東	電波の日	栃木県警察本部生活安全部	団体	生活安全部長 ：大貫 良之	不法無線局が引き起こす社会への影響を深く認識し管内の警察署に対して不法無線局共同取締りを主導するとともに、電波法令違反事案の解消に積極的に取り組み、適正な電波利用の重要性の認知度を向上させるなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
関東	電波の日	水戸コミュニティ放送株式会社	団体	代表取締役 ：海老澤 啓子	ラジオ放送による災害時の情報伝達の重要性を強く認識し、地元自治体と関係強化に努めるとともに、令和元年台風19号災害に際し、被災した地域へ臨時災害放送局を開設するための設備を無償貸与し運用を支援するなど、災害時における情報提供手段の確保に多大な貢献をした。
関東	情報通信月間	茨城県立水戸工業高等学校	団体	校長 ：川嶋 正人	工事担任者試験の認定学校として、長年資格者教育に尽力するとともに、理解度向上と知識定着のためのカリキュラムを配置することにより、多数の国家試験合格者を輩出するなど、資格者制度の維持やデジタル経済を支える情報通信インフラ構築へ多大な貢献をした。
関東	情報通信月間	学校法人関東学園 関東学園大学	団体	学長 ：齋藤 大二郎	スマート農業やコミュニティ放送を活用したまちづくりなどについて実践的な講義を実施され、地域課題の解決に挑戦する人材育成に貢献するとともに、地方創生研究所の活動を通じ、地方公共団体や地元企業と連携しICTの利活用による地域活性化に貢献した。
関東	関東情報通信協力会長表彰	中島 松義	個人	公益財団法人日本無線協会養成課程講師	公益財団法人日本無線協会の講師として、多年にわたり航空分野の無線通信業務に従事した経験と知識を生かし、無線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関東	関東情報通信協会の会長表彰	峯光 義明	個人	一般財団法人日本アマチュア無線振興協会非常勤講師・管理責任者	一般財団法人日本アマチュア無線振興協会の第三級・第四級アマチュア無線技士養成課程講習会の講師及び管理責任者として、多年にわたりアマチュア無線従事者の健全な育成に尽力するほか、養成課程の適正な運営に取り組むなど、電波利用の発展に多大な貢献をした。
関東	関東情報通信協会の会長表彰	横浜移動無線集中基地管理委員会	団体	委員長 ：大西 春彦	多年にわたり横浜市域のタクシー無線用集中基地局設備の調達・管理・保守を行うとともに、タクシー無線のデジタル化を積極的に主導するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
信越	電波の日	諏訪広域連合	団体	連合長 ：金子 ゆかり	全国初となる地上テレビジョン放送用可搬型送信設備の試験運用や臨時災害放送局の開設運用訓練に尽力し、電波利用の普及発展に貢献されました。
信越	電波の日	片野 勉	個人	プライムテック株式会社 代表取締役会長	永年にわたり、全国陸上無線協会信越支部長として、協会の発展に寄与するとともに、会員の法令意識の向上に努めるなど、電波利用の適正化に尽力されました。
信越	電波の日	山本 良衛	個人	山本電子工業 代表	全国船舶無線協会の本部理事及び信越支部長として、協会の発展と総務省施策の推進に尽力し、船舶の安全航行に大きく貢献されました。
信越	電波の日	笹森 文仁	個人	国立大学法人信州大学 工学部 電子情報システム工学科 教授	電波有効利用技術に関する調査検討会の座長として、技術的条件や課題を取りまとめるなど、電波利用の普及発展に寄与されました。
信越	情報通信月間	公益財団法人にいがた産業創造機構	団体	理事長 ：花角 秀世	企業のICT導入支援のほか、当局主催のIoT入門セミナーの共催など、地域情報化に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間	公益財団法人長野県テクノ財団	団体	理事長 ：神澤 鋭二	企業のICT導入支援のほか、当局主催のIoT入門セミナーの共催など、地域情報化に多大な貢献をされました。
信越	情報通信月間	小木曾 健	個人	グリー株式会社 社会貢献チームネットモラルエバンジェリスト	当局が実施する教育学部学生への情報モラル教育において講義を行い、信越地域の情報化推進に多大な貢献をされました。
信越	信越電波協力会長の表彰	堤 啓治	個人	信越放送株式会社 監査役	永年にわたり、放送番組の制作、放送施設の維持管理、地上デジタル放送への移行などに尽力され、放送分野における電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。
信越	感謝状	ソフトバンク株式会社 エリアネットワーク本部 関東ネットワーク技術統括部	団体	統括部長 ：武田 大輔	令和元年の台風19号豪雨災害において、応急復旧対応、避難所への公衆無線LANの設置など、通信サービスの維持、被災者支援に貢献をされました。
信越	感謝状	株式会社NHKテクノロジーズ 長野ファシリティ技術事業所	団体	所長 ：伊藤 正勝	令和元年の台風19号豪雨災害において、臨時災害放送局の設営に協力するなど、災害時の生活支援情報の発信に貢献をされました。
信越	感謝状	株式会社NTT東日本-関東信越設備部サービス運営部門 長野災害対策室	団体	室長 ：田中 聖志	令和元年の台風19号豪雨災害において、応急復旧対応、災害用公衆電話の設置など、通信サービスの維持、被災者支援に貢献をされました。
信越	感謝状	株式会社ドコモCS 長野支店	団体	支店長 ：宮下 真一	令和元年の台風19号豪雨災害において、応急復旧対応、避難所への公衆無線LANの設置など、通信サービスの維持、被災者支援に貢献をされました。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信越	感謝状	株式会社Goolight	団体	代表取締役社長 ：丸山 康照	令和元年の台風19号豪雨災害において、避難所への公衆無線LAN設備の設置など、被災住民の情報伝達手段の確保に貢献をされました。
信越	感謝状	須坂市	団体	市長 ：三木 正夫	公文書集配業務を社会福祉法人の信書便事業者に委託し、その事例を総務省の広報資料に寄稿するなど、信書便制度の周知及び普及促進に協力されました。
信越	感謝状	長野県木曾警察署	団体	署長 ：山内 敦司	永年にわたり、当局との不法無線局共同取締りに積極的に取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、地域の電波環境維持に協力されました。
信越	感謝状	KDDI株式会社 技術統括本部運用本部 東日本運用センター 中日本テクニカルセンター	団体	センター長 ：木佐貴 啓	令和元年の台風19号豪雨災害において、応急復旧対応、避難所への公衆無線LANの設置など、通信サービスの維持、被災者支援に貢献をされました。
信越	信越総合通信局長賞	長野県上田高等学校 定時制	学校部門	校長 ：廣田 昌彦	「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『デマ発信 軽い気持ちで重い罪』 受賞作品は、令和2年度1年間の啓発活動に活用されます。
北陸	電波の日	上田 豊吉	個人	一般社団法人全国船舶無線協会北陸支部副支部長	多年にわたり一般社団法人全国船舶無線協会北陸支部副支部長として、海難事故防止等の観点から、船舶無線の普及発展を推進するとともに、電子申請の積極的な導入や旧スプリアス対策等を通じて北陸地域の無線通信の発展に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日	福井県	団体		令和元年度福井県総合防災訓練において、全国に先駆けて臨時災害放送局のFM放送を活用して、避難所等の鍵保管箱を遠隔解錠する実証を成功させるなど、災害時におけるFM放送の高度利用に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日	タイヨー電子株式会社	団体		令和元年度福井県総合防災訓練において、全国に先駆けて臨時災害放送局のFM放送を活用して、避難所等の鍵保管箱を遠隔解錠する実証を成功させるなど、災害時におけるFM放送の高度利用に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日	特定非営利活動法人 たんなん夢レディオ	団体		令和元年度福井県総合防災訓練において、全国に先駆けて臨時災害放送局のFM放送を活用して、避難所等の鍵保管箱を遠隔解錠する実証を成功させるなど、災害時におけるFM放送の高度利用に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間	福野 泰介	個人		北陸を拠点として、プログラミングを学ぶためのソフトウェア・ハードウェアの開発・普及や教育・コンテスト等の活動を国内外において行い、特に青少年の情報通信技術に関する知識と関心の向上に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間	富山県	団体		第五世代移動通信システム「5G」の基地局整備や利活用を促進するために検討会を開催するとともに、相談窓口設置や周知活動等を行い、富山県内における5Gの円滑なサービス開始や普及に多大な貢献をされた功績



## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北 陸	情報通信月間	富山市	団体		市内にセンサーネットワーク及び情報を蓄積するIoTプラットフォームを構築して自ら実証を行うとともに、その実証環境を事業者等に無償提供し実証を支援することにより、センサーネットワークやIoTプラットフォームの新たな活用可能性を切り拓き地域情報化の推進に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	深見 哲男	個人	石川工業高等専門学校名誉教授	石川工業高等専門学校名誉教授として、多年にわたり教育を通して情報通信関連技術者を育成するとともに、北陸総合通信局が主催する調査検討会等において座長等を務め、北陸地域における情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	福島 健一郎	個人		北陸地域においてオープンデータ活用の普及啓発活動に積極的に取り組むとともに、全国で広く利用されているオープンデータを活用したウェブアプリの開発に参加するなど、情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	石川県漁業協同組合輪島支所	団体		船舶自動識別装置や国際VHFの機器展示・説明会を積極的に開催し、所属組合員の海難事故防止に係る有用性の理解と認識を深めるなど、地域の船舶自動識別装置と国際VHFの普及促進に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	富山県eスポーツ連合	団体		第5世代移動通信システム「5G」をeスポーツに活用する先駆的取組を行うとともに、5Gとeスポーツを関連させたセミナー等を通じて5Gへの関心を高めるなど、電波利用の普及啓発に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	富山県立滑川高等学校	団体		電波の重要性と利便性を深く認識され、電波法に定める科目確認制度を活用して無線従事者の資格取得に積極的に取り組み、地域の電波利用の人材育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	富山シティエフエム株式会社	団体		富山県総合防災訓練において、臨時災害放送局の開設訓練を支援し、被災者支援情報や生活関連情報を正確かつ迅速に伝達するための臨時災害放送局制度の普及に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	一般社団法人日本アマチュア無線連盟北陸地方本部	団体		災害時に地方公共団体等が円滑に臨時災害放送局を開設・運用できるよう、同放送局の開設・運用の際に必要なとされる無線従事者の派遣協力について、北陸総合通信局との間で協定を締結し、災害時における被災地への情報伝達に関する体制強化に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	日本光電工業株式会社AS中部	団体		北陸メディカル電波利用協議会幹事会構成員として、医療機関における電波を使用した機器の利用方法に関する提言や医療関係者への周知啓発活動を積極的に行うなど、安心安全な電波利用環境の構築に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	フクダ電子北陸販売株式会社	団体		北陸メディカル電波利用協議会幹事会構成員として、医療機関における電波を使用した機器の利用方法に関する提言や医療関係者への周知啓発活動を積極的に行うなど、安心安全な電波利用環境の構築に多大な貢献をされた功績
北 陸	感謝状	福井街角放送株式会社	団体		福井県総合防災訓練において、臨時災害放送局の開設訓練を支援し、被災者支援情報や生活関連情報を正確かつ迅速に伝達するための臨時災害放送局制度の普及に多大な貢献をされた功績

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	上杉 喜彦	個人	国立大学法人金沢大学教授	国立大学法人金沢大学教授として、多年にわたり電気工学の基礎教育を通して、地域に貢献する電気・情報通信関連技術者を育成するとともに、同大学総合メディア基盤センター長として地域の情報通信関連企業と連携のもと学内情報セキュリティの体制強化とICT化を推進するなど、地域情報化に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	西田 公信	個人	NPO法人ネットワークアシストたかおか事務局長	多年にわたりNPO法人ネットワークアシストたかおか事務局長として、市民がネットワーク社会を生きるための知識習得機会の提供及びモラルの醸成に積極的に取り組むなど、地域のICT化と活性化に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	野上 陽太郎	個人	一般社団法人北陸自動車無線協会理事	多年にわたり一般社団法人北陸自動車無線協会理事として、タクシー無線の高度化・デジタル化を推進するとともに、無線従事者の育成や無線運行管理者の資質向上に努めるなど、北陸地域のタクシー無線の健全な普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	山田 真功	個人	一般社団法人北陸自動車無線協会理事	多年にわたり一般社団法人北陸自動車無線協会理事として、タクシー無線の高度化・デジタル化を推進するとともに、無線従事者の育成や無線運行管理者の資質向上に努めるなど、北陸地域のタクシー無線の健全な普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	一般社団法人日本CATV技術協会中部支部北陸地区支部	団体		北陸地区のケーブルテレビ施設に係る技術向上を図るため、最新技術に関する講習会等を開催するとともに、新4K8K衛星放送の受信環境整備に関する啓発活動を行うなど、ケーブルテレビ網を活用した情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	福井県立科学技術高等学校	団体		電気通信設備の工事担任者試験の受験に積極的に取り組み、高校生では難易度が高いDD第一種試験について全国トップクラスの合格者を輩出するなど、情報通信人材の育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	福井放送株式会社	団体		AMラジオ放送の難聴解消のためにFM補完中継局を整備するに当たり、北陸管内初のFM同期放送技術を用いることにより、周波数の有効利用に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸総合通信局長賞	加賀市立錦城中学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『その言葉 ほんとに誰も 傷つけない?』 受賞作品は、今後、広報・啓発ポスターをはじめ、中央及び全国各地で実施される情報通信の安心安全な利用に係る各種啓発事業・行事等に幅広く活用されることになっています。
東 海	電波の日	知多半島ケーブルネットワーク株式会社	団体	代表取締役社長 ：中西 満	美浜町が実施した総合防災訓練において、東海地域で初めてとなる臨時災害放送局の開設訓練を行い、災害時における電波利用の推進に多大な貢献をされました。
東 海	電波の日	公益社団法人中部小型船安全協会	団体	会長 ：小栗 一郎	多年にわたりマリナーの所属会員に対して開催する海上安全講習会において、海難事故防止に有効な無線機器の普及促進に多大な貢献をされました。
東 海	電波の日	一般社団法人日本コミュニティ放送協会 東海地区協議会	団体	会長 ：久田 五海	美浜町が実施した総合防災訓練において、東海地域で初めてとなる臨時災害放送局の開設訓練を行い、災害時における電波利用の推進に多大な貢献をされました。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東海	電波の日	美浜町	団体	町長 ：齋藤 宏一	美浜町が実施した総合防災訓練において、東海地域で初めてとなる臨時災害放送局の開設訓練を行い、災害時における電波利用の推進に多大な貢献をされました。
東海	情報通信月間	湯瀬 裕昭	個人	静岡県立大学 ICTイノベーション研究 センター長・教授)	想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害において、ICTを活用した災害情報共有システムや安否情報システムについて広く周知し、災害時のICTの利活用の推進に多大な貢献をされました。
東海	情報通信月間	親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議	団体	座長(三島市長) ：豊岡 武士	三島市において、インターネットトラブルから青少年を守る独自の取組やインターネットを安心安全に利用するための人材育成に尽力されるなど、情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。
東海	情報通信月間	静岡県立科学技術高等学校	団体	校長 ：松村 照司	生徒の工事担任者資格の取得指導を多年にわたり取り組み多くの資格者を輩出するとともに、他校の教師に資格取得の教授方法を紹介するなど、電気通信の発展に多大な貢献をされました。
東海	情報通信月間	特定非営利活動法人HUB GUJO	団体	理事長 ：赤塚 良成	地域特性を活かしたテレワーク拠点の整備や地域課題をICTで楽しみながら解決する地域ICTクラブの構築など、多年にわたり情報通信を活用した地域活性化の推進に多大な貢献をされました。
近畿	電波の日	公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山県地域医療支援センター	団体	地域医療センター長 ：上野 雅巳	第5世代移動通信システムを用いた遠隔診療サービスの高度化に関する実証実験を実施し山間部・過疎地等の地域医療が抱える課題解決に向けた遠隔医療支援システム実現に多大な貢献をされました。
近畿	電波の日	DXアンテナ株式会社	団体	代表取締役社長 ：長代 輝彦	医用テレメータの受信不良等のトラブル解決のため長年培った経験と高度な技術力を駆使し医用テレメータの安定受信のためのアンテナや受信システムを開発し医療機関における安心・安全な電波利用に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	工藤 陽介	個人	株式会社ドリーム・トレイン・インターネット・モバイル TONE事業部	インターネット・リテラシー向上並びにサイバーセキュリティ対策推進のため多数のセミナー講師を務めるなど長年にわたりICTの安心・安全な利用に関する取組に尽力し地域における情報通信の利用環境整備に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	公益財団法人大阪産業局	団体	理事長 ：立野 純三	世界に挑戦する起業家が集まるイノベーション創出拠点として「大阪から世界へ」をテーマに新たな事業の創出につながるイベントを多数開催する等ICTベンチャーの支援を行うことで地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	京都府	団体	知事 ：西脇 隆俊	総務省との共催により開催した「オープンデータリーダ育成研修」等を活用し「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」で目標とされているオープンデータ取組率100%を達成し地方公共団体のオープンデータ化に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信月間	奈良県三郷町	団体	町長 ：森 宏範	総務省が実施した「ふるさとテレワーク推進事業」及び「地域におけるIoTの学び推進事業」を活用し積極的な企業誘致活動や小学生へのプログラミング教育に取り組むなどICTの利活用と人材育成に多大な貢献をされました。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	濱口 伸	個人	株式会社毎日放送 コンテンツビジネス局ITビジネス部 部次長	放送通信連携サービスの開発に従事され特にスポーツを中心としたライブ配信のためのシステムを開発するとともにテレビ番組のネット配信についてサーバレスアーキテクチャを採用した動画配信サイトを構築するなど番組配信技術の開発や基盤整備に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	粟津 千草	個人	株式会社ジェイコム ウェスト お客様サービス推進統括部	永年にわたり近畿地域の小学校、中学校を中心に多くの生徒、保護者、教職員及び地域住民に対して情報リテラシーの啓発活動に従事するとともに変化する環境に合わせて受講者の理解度を上げる取組を行うなど情報リテラシーの向上に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報通信協議会会長表彰	京都府立工業高等学校	団体	校長 :大島 浩樹	永年にわたり電気通信技術に係る専門知識の教授に努められ難易度が高い上位資格を取得した卒業生を数多く社会に送り出しその指導方法を地域の教育関係者に積極的に紹介するなど高度化かつ複雑化する情報社会の人材育成に多大な貢献をされました。
近畿	近畿総合通信局長賞	豊中市立第十五中学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『気づいたら スマホが自分を 使ってる』 受賞作品は、広報ポスターへの掲載をはじめ、各種啓発事業・行事等において広く活用されます。
近畿	日本PTA賞	逸見 早紀	個人	神戸学院大学附属中学校	受賞作品 『あったかい 言葉広がる ネットがいい』
近畿	ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会特別賞	橋本 恵里花	個人	兵庫県立福崎高等学校	受賞作品 『いいね数 ほんとにそれが 君の価値?』
中国	電波の日	第六管区海上保安本部 水島海上保安部	団体	部長 :稲田 健二	海上における無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局を排除するための取締りを積極的に実施し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	大島商船高等専門学校 瀬戸内無線局	団体	代表者 :樹下 馨	令和元年度高専ワイヤレスIoT技術実証で、電波を利用した離島のための災害時通信網の確立を実証し、災害情報を確実に収集する手段の確保に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	広島市	団体	市長 :松井 一貴	長年にわたり各国要人が出席する広島平和記念式典などの開催に当たり、電波監視業務の取組に協力し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	島根県出雲警察署	団体	署長 :両見 信宏	無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局を排除するための取締りを積極的に実施し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	一般社団法人岡山県病院協会	団体	会長 :難波 義夫	医療電波利用中国協議会の主旨に賛同し、多数の説明会開催にご協力いただくなど安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	一般社団法人広島県病院協会	団体	会長 :檜谷 義美	医療電波利用中国協議会の主旨に賛同し、多数の説明会開催にご協力いただくなど安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	一般社団法人山口県病院協会	団体	会長 :三浦 修	医療電波利用中国協議会の主旨に賛同し、多数の説明会開催にご協力いただくなど安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。



## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中国	電波の日	鳥取県病院協会	団体	会長 ：櫃田 豊	医療電波利用中国協議会の主旨に賛同し、多数の説明会開催にご協力いただくなど安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	島根県病院協会	団体	会長 ：中澤 芳夫	医療電波利用中国協議会の主旨に賛同し、多数の説明会開催にご協力いただくなど安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	山口放送株式会社	団体	代表取締役社長 ：林 延吉	令和元年10月台風19号災害において、情報収集に必要なラジオを信越総合通信局を通じて長野県内の被災地域に提供し、情報伝達手段の確保に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社山陰放送	団体	代表取締役社長 ：坂口 吉平	鳥取県及び島根県の市町村と災害協定を締結することにより、ラジオ放送を通じた災害時の情報伝達体制を強化し、地域の放送の発展に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	株式会社エフエム山陰	団体	代表取締役社長 ：瀬崎 輝幸	鳥取県及び島根県の市町村と災害協定を締結することにより、ラジオ放送を通じた災害時の情報伝達体制を強化し、地域の放送の発展に多大な貢献をされました。
中国	電波の日	SOMPOホールディングス株式会社	団体	代表執行役社長 ：櫻田 謙悟	令和元年度5G総合実証試験を活用し、今後必要不可欠になる介護事業への5G導入促進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	小野 公美加	個人	株式会社TDモバイル 中国支店 エリアマネージャ	e-ネットキャラバン活動に積極的に取り組み、多数の講座で講師を務めるなど、青少年のインターネットリテラシー向上に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	高橋 孝之	個人	株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク 代表取締役	多年にわたり地域との協働による番組制作や災害に備えた緊急情報を全国のケーブルテレビ局に提供するなど、地域メディアの発展に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	安来市	団体	市長 ：近藤 宏樹	行政情報に関わるオープンデータ化に早期から取り組み、他の自治体の模範となるなどオープンデータの推進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	広島県立福山葦陽高等学校	団体	校長 ：田玄 和司	「青少年のインターネット・リテラシーに関する実態調査」の実施校としてテストに協力するなど、インターネットの安心・安全な利用に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	公益財団法人広島市文化財団 映像文化ライブラリー	団体	館長 ：塩満 和弘	映像文化の振興等を目的とした「ひろしま映像ショーケース」を開催するなど、クリエイターの育成や作品発表の場を提供され、地域からの情報発信等に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	一般社団法人鳥取県ハイヤータクシー協会	団体	会長 ：船越 克之	「鳥取県版多言語音声翻訳システムTOTTRA」をタクシーに搭載するなど、多言語音声翻訳技術の地域実装推進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	一般社団法人RoFR eC	団体	代表理事 ：岡田 吉弘	一般社団法人RoFR eCが展開する「地域ICTクラブ」は、子供たちへのICT教育と地域の活性化を結びつけた活動として、他の地域での活動に影響を与え、今後のICTの発展に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間	岡山県消費生活センター	団体	所長 ：上野 和也	e-ネットキャラバン活動に積極的に取り組み、多数の講座に講師として職員を派遣するなど、青少年のインターネットリテラシー向上に多大な貢献をされました。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中国	中国総合通信局長賞	宇部商業高等学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『消せないよ 心の傷と SNS』 受賞作品は、ポスターや啓発活動等に活用していきます。
四国	電波の日	三崎 幸典	個人	香川高等専門学校電子システム工学科教授	総務省の実施した「高専ワイヤレスIoT技術実証コンテスト」において、「山間部における電線点検作業員の見守りシステム」の実証チームを指導教員として表彰に導き、ひいては四国における電波分野の若手人材育成に多大な貢献をした。
四国	電波の日	大西 安輝	個人	香川県電波適正利用推進員協議会元会長	電波適正利用推進員として、電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、香川県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四国	電波の日	中山 猛夫	個人	高知県電波適正利用推進員協議会前会長	電波適正利用推進員として、電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、高知県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四国	電波の日	株式会社愛媛CATV	団体	代表取締役社長 ：宮内 隆	CATVのラストワンマイルを有線から5Gに置き換えるための実証実験を全国に先駆けて実施するなど、ローカル5G電波の有効利用と地域創生に資する取組に多大な貢献をした。
四国	電波の日	徳島県徳島中央警察署	団体	署長 ：尾田 正則	電波利用環境保護の重要性を深く認識され、電波のルールを守るため積極的に不法無線局を排除する取組を行い、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
四国	電波の日	香川県観音寺警察署	団体	署長 ：政本 幸二	電波利用環境保護の重要性を深く認識され、電波のルールを守るため積極的に不法無線局を排除する取組を行い、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
四国	情報通信月間	福本 昌弘	個人	高知工科大学情報学群教授／情報センター長	四国情報通信懇談会ICT研究交流フォーラムの代表幹事さらに戦略的情報通信研究開発推進事業のサポーターグループの一員として、ICT分野における研究交流促進及び研究課題発掘に尽力され、地域のICT分野の研究開発推進に多大な貢献をした。
四国	情報通信月間	松山市	団体	市長 ：野志 克仁	全国に先駆けRPAの中小企業への導入支援制度創設や行政事務への導入を進めるとともに、長年独自のテレワーク支援制度やテレワーカーと企業とのマッチング事業等を通じ、ICTを活用した働き方改革を推進するなど、持続可能な地域社会づくりに多大な貢献をした。
四国	情報通信月間	西条市	団体	市長 ：玉井 敏久	教育現場でのクラウド活用や教職員のテレワークシステムの導入等、先進的な取組を進めるとともに行政の業務効率化や市民サービスの向上のためのRPA導入を推進するなど、ICT活用による教育や行政分野の働き方改革及びサービス品質の向上に多大な貢献をした。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四 国	四国総合通信局長賞	愛媛県立松山南高等学校	学校部門	校長 :近藤 実	「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『何気ない その書き込みに涙する 小さい画面に大きな責任』 四国総合通信局は、これら受賞作品をインターネットの安心・安全な利用に資する講座や会合において紹介し、家庭でのルール作りの必要性やネットマナーについて理解を深めていただくために活用します。
九 州	電波の日	中野 孝男	個人	元熊本県 電波適正利用推進員協議会 会長	熊本県電波適正利用推進員協議会会長をはじめ、長きにわたり協議会の活動に尽力し、電波教室の開催や周知啓発活動を積極的に推進するなど、電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日	熊本県御船町	団体	町長 :藤木 正幸	町全体へ無線通信網を整備し、災害時における避難状況の把握や、迅速な避難所の開錠を可能とするシステムを構築するなど、電波の利活用による防災対策の高度化に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日	熊本大学病院医療情報経営企画部	団体	部長 :宇宿 功市郎	無線デバイス端末による院内医療用ネットワークの構築や、ME機器管理システムの導入とともに、患者向け無線LANサービスの提供など、先進的な医療システムの整備を行い、電波の利活用による医療分野の高度化に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日	有限会社協同ファーム	団体	代表取締役社長 :日高 義暢	養豚場にIoTを導入し、遠隔でのリアルタイムモニタリングなどの実現により、作業の迅速化や短縮化を図るなど、電波の利活用による畜産分野の高度化に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日	有限会社鈴木組	団体	代表取締役社長 :鈴木 美保子	地域資源を活用したチョウザメ養殖事業にIoTを導入し、さまざまな情報のモニタリングを行うことにより、効率的なキャビアの生産を実現するなど、電波の利活用による水産分野の高度化に多大な貢献をされました。
九 州	情報通信月間	牛島 清豪	個人	株式会社 ローカルメディアラボ 代表取締役	地域オープンデータの推進に積極的に取り組むとともに、地域情報化アドバイザーとして、多くの自治体の地域課題解決のための指導や助言を行うなど、地域情報化に多大な貢献をされました。
九 州	情報通信月間	長崎県立長崎工業高等学校	団体	校長 :梅野 剛	長年にわたり工事担任者資格取得の推進を通して、情報通信に関する知識や技術を有する若手技術者の育成に多大な貢献をされました。
九 州	情報通信月間	国立大学法人長崎大学	団体	学長 :河野 茂	離島での医療推進のため、ビッグデータを活用した調剤情報共有システムを長崎県五島市で構築・運用するにあたり、幅広い支援を行うなど、情報通信による医療分野の高度化に多大な貢献をされました。
九 州	情報通信月間	西日本鉄道株式会社	団体	代表取締役社長執行役員 :倉富 純男	スマートフォン向けマルチモーダルモビリティサービスを共創し本格実施するなど、情報通信を活用した円滑な人の移動や、街の賑わい創出に多大な貢献をされました。
九 州	九州総合通信局長賞	佐伯市立鶴谷中学校	学校部門	校長 :松下 伸生	「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『書きこんだ 言葉の重さ 気づいてる?』 標語の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。

## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九州	九州電波協力会長表彰	日本放送協会福岡拠点放送局	団体	局長 ：歌川 信郎	九州各県の放送会館において8K特設シアターを設置し、ラグビーワールドカップ2019 日本大会の試合をパブリックビューイングに供するなど、新4K8K放送の普及促進と地域の賑わいの創出に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	株式会社エフエム福岡	団体	代表取締役社長 ：光富 彰	九州初の民間による超短波放送事業者として、長年にわたりエフエム放送の普及と発展に尽力するとともに、災害の予防情報や応急対策情報の発信などを通じて、地域の防災に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	大分ケーブルテレコム株式会社	団体	代表取締役社長 ：上村 忠	ワールドラグビーパシフィック・ネーションズカップ2019の試合を、4K映像によるパブリックビューイングに供するなど、新4K8K放送の普及促進と地域の賑わいの創出に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	株式会社ジェイコム九州	団体	代表取締役社長 ：徳田 瑞穂	ワールドラグビーパシフィック・ネーションズカップ2019の試合を、4K映像によるパブリックビューイングに供するなど、新4K8K放送の普及促進と地域の賑わいの創出に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	古堅 彰子	個人	那覇市立小祿中学校教諭	多年にわたり、中学生による「受信環境クリーン凶案コンクール」への多数の作品応募を指導され、美術の授業を通じて電波に関する知識の普及・啓発に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	山川 貴子	個人	宜野湾市立宜野湾中学校教諭	多年にわたり、中学生による「受信環境クリーン凶案コンクール」への多数の作品応募を指導され、美術の授業を通じて電波に関する知識の普及・啓発に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	大城 安	個人	一般社団法人沖縄県臨床工学技士会 会長	発足当初の平成29年度から令和元年度まで「沖縄地域の医療機関における電波利用推進協議会」の会長を務められ、医療機関における安心・安全な電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	一般社団法人沖縄総合無線センター	団体		災害時における情報の収集・伝達の重要性を深く理解され、設備を利用する公共交通機関であるタクシー事業者が、災害時にも情報伝達が途絶えることなく事業を継続できるようタクシー無線ネットワークの強靱化を勧めるとともにこれを支援し、防災に向けた電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	団体		「沖縄地域の医療機関における電波利用推進協議会」の活動に積極的に協力し、病院内における携帯電話使用規則の改定に取り組んだほか、その成果を県内医療関係者等に展開するなど、医療機関における安心・安全な電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。
沖縄	電波の日	医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院	団体		「沖縄地域の医療機関における電波利用推進協議会」の活動に積極的に協力し、病院内において電波環境調査を行ったほか、その成果を県内医療関係者等に展開するなど、医療機関における安心・安全な電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。
沖縄	情報通信月間	沖縄工業高等専門学校	団体		総務省が主催する「高専ワイヤレスIoT 技術実証コンテスト」へのアイデア応募を熱心に指導され、生徒が総務大臣賞をはじめ多くの賞を受賞するなど、教育を通じて情報通信とその科学知識の普及発展に多大な貢献をされました。



## 2020年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
沖 縄	沖縄総合 通信事務 所長表彰	那覇市立松島中学校	学校部 門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」  『馬があう ネット友達 裏がある』 標語の公募において、安心・安全な利用に関わる顕著な活動をされると共に優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心・安全と情報通信の健全な発展に大きく貢献されました。
沖 縄	沖縄電波 協力会長 表彰	サミットインダストリアル株式会社	団体		多年にわたり県内北部地域、先島地域の企業に対して第3級陸上特殊無線技士の資格取得を働きかけ、無線従事者養成講習会を実施により多くの無線従事者を養成し、電波利用の普及発展に貢献されました。
沖 縄	沖縄電波 協力会長 表彰	合資会社つきしろ交通(パンダ無線タクシー)	団体		公共交通機関としての社会的役割を深く理解され、災害時に指令センターの通信が途絶した場合でも、車両が臨時指令センターとして機能するタクシー無線ネットワークを全国で初めて整備され、防災に向けた電波利用の発展に多大な貢献をされました。